

**研修旅行
～兵庫、京都、
大阪の旅～**
令和6年
2月19～23日

令和6年2月19～23日、研修旅行が実施され、2学年の学生が兵庫県、京都府、大阪府を巡りました。

初日に訪れた兵庫県では、神戸ワイナリーの見学や北野異人館街の散策、トワイライトクルーズでディナーを楽しみました。2日目に訪れた京都府では、京の食文化ミュージアムのほか、嵐山、清水寺、伏見稲荷大社を見学しました。3～5日目に訪れた大阪府では、大阪市中央卸売市場のほか、道の駅や農業公園を見学・散策しました。自由行動の時間も設け、各自で自主研修を企画し、思い思いに研修旅行を楽しみました。

2学年は、高校時代がコロナ禍と重なり、修学旅行が中止となった学生が多く、修学旅行の定番とされるスポットを巡ることができ、喜んでいました。苦楽を共にした仲間と良い思い出をつくる機会になったようです。



大阪市中央卸売市場見学



昼食時の様子（1日目）



清水寺にて



ディナークルーズ

令和5年11月上旬に新牛舎が完成し、同下旬から使用開始しました。これまでは「乳牛舎」「肉牛舎（育成牛）」「肉牛舎（肥育牛）」の3つの牛舎がありましたが、新牛舎はすべてを1つに集約し、乳肉複合の仕様となっています。

新牛舎の完成で飼養管理に費やす時間等が短縮され、少人数で数十頭の牛の世話をより効率的にできるようになりました。また、発情発見や草地管理等、畜産経営に必要な技術の向上にむけた時間がこれまでより増えることが期待されます。新牛舎の完成は青森県の畜産を支える貴重な担い手の育成に大きく貢献してくれることでしょう。

牛舎新築

令和5年
11月



牛舎外観



くつろぐ乳用牛



飼養管理の様子

〈R5 卒業生進路状況〉

(単位：人)

卒業生数	就農	就職					進学・研修	その他
		農業法人	農業関連企業	農協等	公務員	他産業		
44	10	7	15	5	1	5	1	0

営大通信

第52号
令和6年3月26日

発行
青森県営農高等学校興農会
会長 小川 広徳
青森県営農高等学校後援会
会長 川村 学
青森県上北郡七戸町字大沢48-8
TEL 0176-62-3111



**令和5年度
卒業式**

令和6年
3月2日



卒業生代表 感謝の言葉

3月2日、令和5年度卒業式を挙行し、畑作園芸課程24名、果樹課程14名、畜産課程6名、合計44名が2年間の学業を終え営農高等学校を巣立ちました。

宮下知事をはじめ多くの来賓や保護者御臨席のもと、卒業証書及び学生表彰の各賞が授与され、蝦名校長から、「変化していく時代に適応しながら、常に夢と希望を持ち続け、過去の価値観に縛られず、大胆で柔軟な発想力と行動力で、困難や新たな分野、新たな取組に果敢に挑戦してほしい」と式辞がありました。

在校生を代表して畑作園芸課程の川浪莉玖さんから、卒業生に対するエールの言葉が送られました。卒業生を代表して果樹課程の小林蒼明さんからは、入学時初めて受けた方言の洗礼や、プロジェクト学習などの2年間の思い出、後輩への激励や将来への決意が感謝の言葉として述べられました。

卒業生は、社会人としてそれぞれの道を歩みますが、本校で学んだことや仲間との絆を大切に、大いに活躍することを期待しています。

各賞受賞者

- 知事賞 小林 蒼明 (果樹課程)
- 校長賞 米田 拓史 (畑作園芸課程)
- 小泉 響 (果樹課程)
- 川村 卓 (畜産課程)
- 功労賞 石田 梨月 (畑作園芸課程)
- 大村 拓士 (畑作園芸課程)
- 精励賞 田村 海人 (畑作園芸課程)
- 船水 沙紀 (畑作園芸課程)
- 小山内 隆登 (果樹課程)
- 宮田 若菜 (畜産課程)
- 皆勤賞 川村 汰介 (畑作園芸課程)
- 船水 沙紀 (畑作園芸課程)
- 全国農業高等学校協議会長賞
大村 拓士 (畑作園芸課程)
- 東日本農業高等学校等協議会長賞
其田 楓菜 (畑作園芸課程)
- 内山 碧斗 (果樹課程)
- 農業高等学校同窓会全国連盟会長賞
高舘 歩夢 (畑作園芸課程)
- 東日本農業高等学校等同窓会連盟会長賞
小笠原 希 (畑作園芸課程)
- 青森県農業経営士会長賞
米田 拓史 (畑作園芸課程)
- 興農会長賞 石田 梨月 (畑作園芸課程)
- 小林 蒼明 (果樹課程)
- 後援会長賞 荒町 勇伎 (畑作園芸課程)
- 川崎 義純 (畑作園芸課程)
- 木村 拓斗 (果樹課程)
- 山谷 快成 (果樹課程)
- 川村 卓 (畜産課程)

営大祭

令和5年
10月28日・29日

本校の学校祭である第44回となる営大祭を10月28日(土)、29日(日)の9:00～14:00に開催しました。

過去3か年、新型コロナウイルス感染症により縮小開催としていましたが、今年は通常開催とし、開催時間を拡大したほか、生徒による模擬店出店、華道、茶道の学習成果展示の再実施、ドローンやロボトラの農業機械の作業実演を新規に実施しました。他にも、例年好評の農畜産物及び加工品販売、オープンキャンパス、就農相談コーナー(十和田市就農支援ブース併設)、生協販売コーナーを実施し、最盛期の雰囲気を取り戻しつつあるものとなりました。

来場者数も延べ1,650人で、過去7年間で最高の人出となりました。



加工品販売部門



華道履修学生の成果展示



学生によるドローン作業実演

令和5年12月20～21日の2日間、プロジェクト発表会・意見発表会を開催しました。2学年は自ら課題を設定し調査・研究に取り組んだ1年間の学習の成果を発表し、1学年の代表学生は農業に対する熱い思いを意見発表しました。

成果とりまとめ、発表資料作成はもちろんのこと、前日も遅くまで発表練習する学生もおり、日頃の努力が報われた発表会となりました。

校内プロジェクト発表会・意見発表会

令和5年12月20～21日



発表トップバッター



最優秀賞の大村さん(畑作2)



各賞受賞者の面々

〈プロジェクト発表受賞者〉

区分	課程名	氏名	課題名
最優秀賞	畑作園芸	大村 拓士	ドローン播種での水稲湛水直播による大幅な省力化・規模拡大の可能性
優秀賞	畑作園芸	石田 梨月	野菜摂取量増加を目指したやさしい味噌の開発
	畑作園芸	米田 拓史	ブロッコリーの茎を活用した健康食品の開発と収益性の検討
努力賞	畑作園芸	其田 楓菜	トルコギキョウの春播き夏秋出し栽培における遮光処理の影響
	果樹	小泉 響	りんごの各品種の認知度向上のための加工品開発と販売方法の提案
	果樹	小林 蒼明	ピンクネットによるりんご果実の日焼け防止

〈意見発表受賞者〉

区分	課程名	氏名	課題名
最優秀賞	果樹	相馬 幸弥	農業に対して思うことと自分の夢
優秀賞	畜産	須藤 成	農業の理想について考える
努力賞	畑作園芸	橋本 祐将	農業へ懸ける想い



1学年の意見発表

東日本プロジェクト発表会

令和6年1月17～18日

北海道帯広市で開催された「東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」に、本校代表として5名の学生が出席し、自ら取り組んだプロジェクト活動等について発表しました。

発表前は、大舞台に緊張していましたが、いざ始まると、どの学生も校内発表会よりも磨きがかかった素晴らしい発表をみせてくれました。

北海道・東北の仲間の学習内容に刺激を受け、自身のプロジェクト学習の良い締めくくりとなりました。



発表する学生

令和6年1月22～25日、1学年3名と2学年2名の計5名が韓国にパプリカの栽培技術や流通の仕組みなどを学びに行ってきました。

初日に訪れたパプリカ農場では、7,000坪という広大な施設の中で効率よく栽培されるパプリカに驚きを隠せず、学生たちは園主にたくさんの質問をしていました。次に視察した可楽洞農水産物総合卸売市場では、市場が設立された経緯や役割、取組内容などについて担当者から説明を受けたのち、場内を見学しました。市場の規模や、日本とは雰囲気の異なる荷姿などに学生は興奮気味だったのが非常に印象的でした。また、お土産の購入に合わせてその後を訪ねたロッテマートでは、野菜の包装形態や価格等、日本とはやや異なるポイントに対して学生は敏感に反応し、会話を弾ませていました。

今回、海外に行くことが初めての学生もいましたが、それぞれが刺激を受けることのできた良い研修になったと思います。

生産から流通・販売まで、グローバルな視点で市場や経済の仕組みについて学生たちが少しでも考えを深め、将来に生かすきっかけになってもらえればと期待します。



パプリカ農場視察



可楽洞農水産物総合卸売市場



ロッテマートで流通の実態を調査



夕食時間にも有意義な時間

青年農業者会議

令和6年2月15～16日

青森市で「令和5年度青森県青年農業者会議」が開催され、県内の農業青年と本校学生が参加し、本校は4月から雇用就農する果樹課程2学年の内山碧斗さんがプロジェクト発表を行いました。

内山さんは「ももの摘果果実を利用した加工品の開発」と題し、通常では廃棄される摘果果実(若桃)を利用した「若桃のシロップ煮」の開発とそのアンケート調査結果について発表し、優秀賞(青森県青年農業者会長賞)を受賞しました。



プロジェクトの成果を堂々発表!

韓国でパプリカを学ぶ!

令和6年
1月22～25日